

2020年1月15日

公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

港区立港南中学校1年生の加藤美旺さんが、最優秀賞を受賞 中学生を対象とした「消費生活に関する作文コンクール」を実施

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当で組織する公益社団法人消費者関連専門家会議（通称・ACAP＝エイキャップ、所在地：東京都新宿区）では、「ACAP消費者問題に関する『わたしの提言』」の応募資格に中学生を加え、これからの時代を担う中学生を対象に、「消費生活に関する作文コンクール」を実施しています。

今回は、ごみや食品ロスの削減、フェアトレード、エシカル消費、環境問題、消費者と生産者の関係、消費者被害の未然防止など、さまざまなテーマで、各地より370作品の応募がありました。どの作品も、身の回りで起きている消費生活に関する問題に真剣に向き合い、その解決策について自らの考えをまとめていました。

審査の結果、最優秀賞には、東京都港区立港南中学校 1年生の加藤美旺さんの「私のワイシャツ大作戦」が選ばれました。

ACAPでは若年層の消費者問題に関する意識の醸成を目指して、今後も本作文コンクールを積極的に展開してまいります。

1. 募集テーマ

消費生活に関する作文として、題名は自由。

2. 応募状況

項目	内 訳
応募数	370作品(学校応募 93.8%、個人応募 6.2%)
応募者の学年	1年生 46.8%、2年生 36.8%、3年生 16.5%
応募者の地域	北海道 0%、東北 0.5%、関東 94.1%、中部 3.5%、近畿 1.4%、 中国 0.3%、四国 0.3%、九州・沖縄 0%

3. 審査状況

(1)一次審査(2019年11月5日～8日実施)

応募370作品より 12作品を選出。

(2)本審査(2019年12月6日実施)

12作品より各賞を選出。

* 本審査員

<審査委員長>	東 珠実 氏	日本消費者教育学会 会長
<審査委員>	増田 悦子 氏	公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
	白石裕美子 氏	せたがや市民法律事務所・弁護士
	高島 竜祐 氏	消費者庁 審議官
	村井 正素	公益社団法人消費者関連専門家会議 理事長

4. 審査結果

(敬称略)

賞	題名	氏名	所属・学校所在地
最優秀賞	私のワイシャツ大作戦	かとう みお 加藤 美旺	港区立港南中学校1年生 (東京都)
優秀賞	食品ロスを減らそう	やまざき なゆか 山崎 奈由佳	東京都立白鷗高等学校附属中学校2年生 (東京都)
入選	食品の涙を減らすために	えんどう もえか 遠藤 萌花	米沢市立米沢第一中学校2年生 (山形県)
入選	プラスチックと紙とキャッサバ	さかもと あおい 坂本 葵衣	東京都立白鷗高等学校附属中学校2年生 (東京都)
入選	「食」を育てていこう	すずき ゆうせい 鈴木 悠生	浜松市立篠原中学校3年生 (静岡県)

■各受賞作文はACAPホームページ(<https://www.acap.or.jp/>)に掲載いたします(1月下旬掲載予定)。

<最優秀賞(全文)>

私のワイシャツ大作戦

港区立港南中学校 1年生 加藤 美旺

今年、災害は私にとって身近なモノになりました。ゲリラ豪雨で電車が止まったり、東京の0メートル地域に住んでいる親せきが避難したり、と環境問題がテレビの報道の中だけのものではなくなったからです。身近にある環境問題の元となるものを考えてみるとすぐに思いついたのがゴミ問題でした。そこで自分の周りの環境について知るために、ゴミの量とゴミを減らす方法をこの夏休みに調べることにしました。これはそのレポートです。

ゴミの量を8月の1ヶ月で調べると、私達6人家族は可燃ゴミを15.6kg、不燃ゴミを8.4kg出していました。その中でプラスチックゴミは5.3kg。私はこれを減らしてみようと考えました。なぜなら、生ゴミなどは必ず発生してしましますが、プラスチックゴミは工夫次第で減らせると感じたからです。

我が家のゴミを分析すると、レジ袋や卵パックなど買い物や何かを消費した時に出るものばかりでした。中でも私は父のシャツのクリーニングにかかっているビニールとハンガーに注目しました。これはシャツ一枚一枚に付いてくるので、月20枚と20本程度は発生します。これを減らすために私は二つの案を考えました。一つは「私が父のシャツに毎日アイロンをかける事」です。しかし実際にやってみると一枚に平均23分かかり、父から「シワが多くて着ていけない」と言われました。父の満足度も低く私の時間と労力もかかり、「すぐに続けていけなくなる」と感じました。

二つ目はクリーニング会社に「ビニールカバーとハンガーを付けずにシャツを納品してもらう事」でした。ハンガーを使わずに畳んでもらい、返却時は、いつもクリーニングを出す時に使う専用袋に入れてもらえば、余計な負担もなくやってもらえるのではないかと考えました。私はこの提案を手紙に書き、この会社に送りました。すると一週間後、返信がありました。「衛生上の問題でビニールカバーは外せない」という主旨でした。

今回、私は自分の提案が通らず残念に思いました。しかし同時に、プラスチックゴミを減らすということしか考えておらず、「清潔に快適に暮らせるか」、それを「続けられるか」という大切な事を考えられていなかったと気付かされました。私達のゴミや環境問題は量だけでなく、人の満足度や衛生面、持続可能かどうか等、生活や消費に関する様々な事と結びついている事が分かりました。私の手紙は、小さな声で、出す時には緊張しましたが、クリーニング会社も消費者である私の要望をきっかけに、環境について考えてくれたかもしれません。これからは、自らの小さな気付きと、それを実際に伝えたり、生活を変えたり、と行動に移す「はじめの一歩」を意識して生活していきたいと思えます。

公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

事務局長代理 茨木 彰彦 TEL : 03-3353-4999 E-MAIL : acap@acap.jp

以上

◆公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当者で構成する組織として、1980年の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記の the Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり、ACAP(エイキャップ)の名前で、親しまれています。

会員数	正会員728名(561社) 全会員数855名 (2019年12月18日現在)
理事長	村井 正素(むらい まさし) 住友生命保険相互会社
特別顧問	高 巖 (たか いわお) 麗澤大学大学院経済研究科教授
所在地等	<p>【事務局】 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-12 玉屋ビル5F TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049 https://www.acap.or.jp</p> <p>【大阪事務所】 〒540-0028 大阪市中央区常盤町 2-1-8 FGビル大阪7階 TEL 06-6943-4999 FAX 06-6943-4900</p>